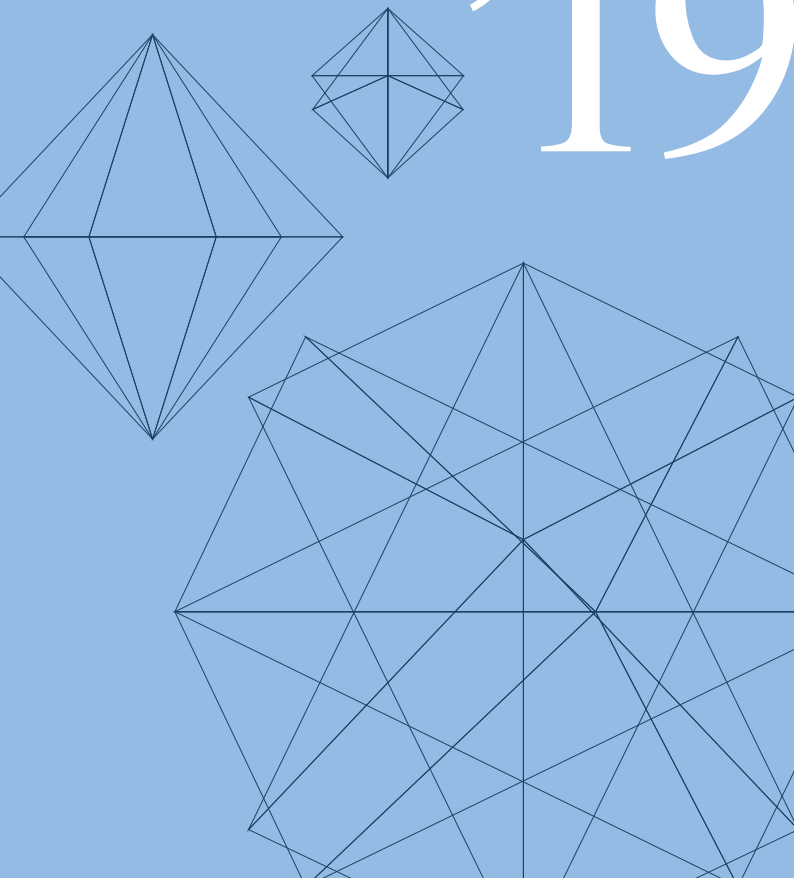


KANAZAWA
UNIVERSITY

DATA

データで見る金沢大学

'19



DATA'19

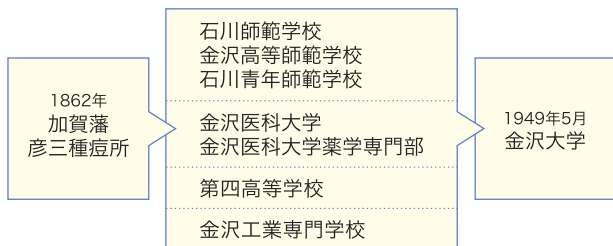
CONTENTS

1	沿革・組織	01
2	基礎データ	02
3	教育	03
4	研究	06
5	社会共創	08
6	国際交流	11
7	附属病院 / 附属図書館・資料館	13

1 沿革・組織

沿革

金沢大学の起源は1862年の加賀藩彦三種痘所まで遡ることができ、150年以上の歴史があります。さまざまな学校の歴史と伝統を引き継ぎ、1949年5月に新制大学として発足。2004年4月、国立大学法人となり、新たな一歩を踏み出しました。



教育研究組織

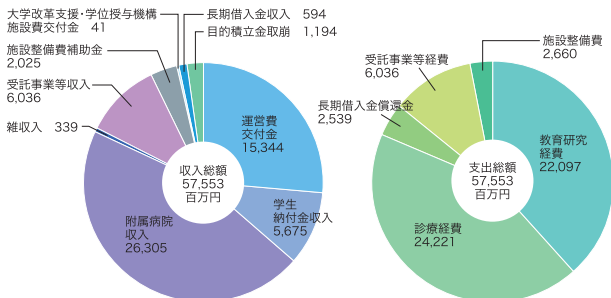
3学域・17学類等 人間社会学域 人文学類／法学類／ 経済学類／学校教育学類／ 地域創造学類／国際学類 理工学域 数物科学類／物質化学類／ 機械工学類／フロンティア工学類／ 電子情報通信学類／地球社会基盤学類／ 生命理工学類 医薬保健学域 医学類／薬学類／ 創薬科学類／保健学類 国際基幹教育院総合教育部	国際基幹教育院
	研究域 人間社会研究域／理工研究域／医薬保健研究域
	附属病院
	附置研究所等 がん進展制御研究所／ナノマテリアル研究所／ 設計製造技術研究所
	附属図書館
	学内共同教育研究施設 総合メディア基盤／環日本海域環境研究／ 学際科学実験／子どものこころの発達研究／ 先進予防医学研究／環境保全 の各センター
	保健管理センター
	グローバル人材育成推進機構
	新学術創成研究機構
	ナノ生命科学研究所
大学院7研究科 人間社会環境研究科 自然科学研究科 医薬保健学総合研究科 先進予防医学研究科 新学術創成研究科 法務研究科(法科大学院) 教職実践研究科(教職大学院)	先端科学・社会共創推進機構
	国際機構
	学内共同利用施設 極低温研究室／資料館／ 埋蔵文化財調査センター／技術支援センター
	男女共同参画キャリアデザインラボラトリー

2 基礎データ

収入予算・支出予算

金沢大学の令和元年度予算額は、約576億円。これは、石川県の一般会計予算額の約1/10、金沢市の約1/3の金額となっています。

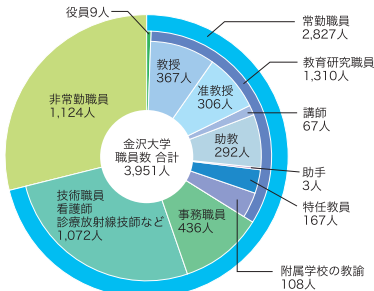
[2019年度の収入予算額と支出予算額](単位:百万円)



職員数

[金沢大学で働く職員数とその内訳(2019年6月1日現在)]

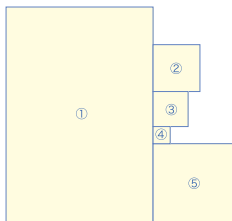
金沢大学で働くスタッフ数は、3,951人。常勤職員に占める女性割合は47%で、そのうち教育研究職員については21%となっています。



キャンパス面積

豊かな緑に囲まれたロケーションにある角間キャンパス。このメインキャンパスをはじめとする金沢大学の総面積は約257万㎡です。

[各キャンパスの面積対比]



- ① 角間キャンパス 2,008,565㎡
本部・人間社会学域・理工学域・
医薬保健学域(薬・創薬)・がん研 ほか
- ② 宝町・鶴間キャンパス 151,053㎡
附属病院・医薬保健学域(医・保) ほか
- ③ 平和町地区 79,876㎡
附属幼・小・中・高
- ④ 東兼六地区 10,517㎡
附属特別支援
- ⑤ その他 319,675㎡
臨海実験施設
辰口共同研修センター
学生寮・職員宿舎 ほか

①+②+③+④+⑤
金沢大学 総面積 2,569,686㎡



3 教育

金沢大学の特色ある学びの枠組み

2008年4月、より幅広く柔軟な学びの提供を目指し、学部学科制から学域学類制に移行。2018年4月には、時代のニーズに応じて学類再編を行い、3学域17学類としました。

- 経過選択制：基礎基本を学びながら、ゆっくりと、じっくりと自分のテーマを選ぶことができます。
- 副専攻制：所属する学類・コースのカリキュラムに加え、学類やコースの区分を超えて、一人一人が主体的に興味関心のある分野を学修。学際的・横断的な学びが可能となります。

金沢大学<グローバル>スタンダード (KUGS)

KUGSとは

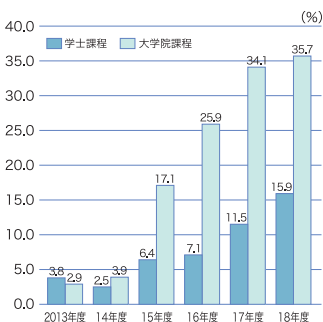
金沢大学が育成する人材の具体的な姿を5つの基準で表したものです。グローバル化が進む国際社会において、常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていくために必要な能力・体力・人間力を備えた人材の育成を目指しています。

- 1 自己の立ち位置を知る
- 2 自己を知り、自己を鍛える
- 3 考え・価値観を表現する
- 4 世界とつながる
- 5 未来の課題に取り組む

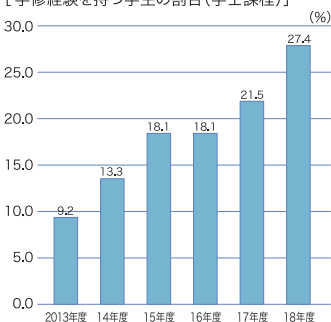
- KUGSを基軸とした学士教育の基盤となるGS(Global Standard)科目とGS言語科目を中心とする体系的な教育カリキュラムを展開しています。加えて、導入科目、基礎科目、初習言語科目などの授業を開講し、大学の教育全体の基盤となる知識・技能および教養、さらに幅広い専門外の知識や現代的な教養を備える人材を育成します。

- 国際基幹教育院では、学士課程から大学院課程における教育の基盤をなす教養的教育(基幹教育)の国際化に必要な基盤整備および教育の質保証を強く推進することで、本学の教育全体の高度化と国際化を牽引します。

[外国語による授業科目割合]



[卒業時までに海外大学等での
[学修経験を持つ学生の割合(学士課程)]



学生数

約10,000人の学生が在籍しています。
うち女子学生は3,771人(37%)です。

[学域等別学生数]

(単位:人)

学域・学类等	学生数	研究科	学生数
[人間社会学域] 人文学類, 法学類, 経済学類, 学校教育学類, 地域創造学類, 国際学類	3,163 (1,678:53%)	大学院修士 (博士前期) 課程	1,246 (304:24%)
[理工学域] 数物科学類, 物質化学類, 機械工学類, フロンティア工学類, 電子情報通信学類, 地球社会基盤学類, 生命理工学類	2,568 (418:16%)	大学院博士 (博士後期) 課程	1,002 (318:32%)
[医薬保健学域] 医学類, 薬学類, 創薬科学類, 保健学類	1,926 (962:50%)	専門職学位課程 (法務研究科, 教職実践研究科)	57 (23:40%)
国際基幹教育院 総合教育部(文系,理系)	145 (37:26%)	計	2,305 (645:28%)
計	7,802 (3,095:40%)	その他 別科	32 (31:97%)

合計 (収容定員 9,421) 10,139(3,771:37%)

()内の数値は女子学生の人数および割合です。

附属学校園幼児・児童・生徒数

[附属学校園在籍者数]

(単位:人)

学校名	在籍者数	学校名	在籍者数
幼稚園	114(57:50%)	高等学校	363(179:49%)
小学校	647(330:51%)	特別支援学校	62(17:27%)
中学校	473(237:50%)		

合計 1,659(820:49%)

()内の数値は女子児童・生徒の人数および割合です。

入学状況

地元北陸3県を中心に、全国各地から
入学者が集まります。

全体数	入学者 1,775人 入学志願者 5,585人
-----	----------------------------

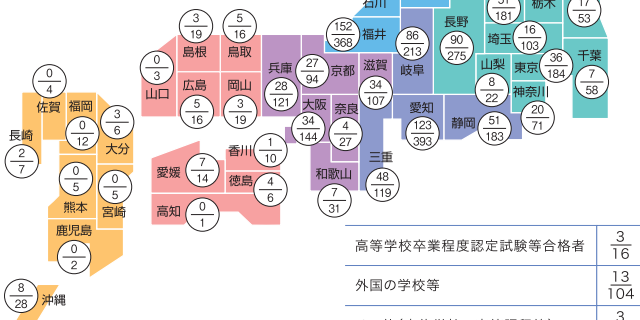
[都道府県別※入学者数(2019年度)]

$\frac{B}{A}$ B=上段は入学者数
A=下段は入学志願者数

※出身高等学校等の所在地による。

[入学者地域別割合]

北陸三県:47%, 関東・甲信越地域:19%,
東海地域:17%, 近畿地域:8%, その他地域:9%

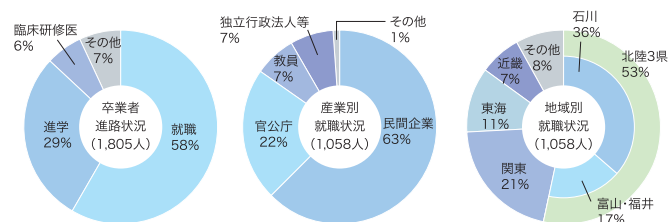


高等学校卒業程度認定試験等合格者	$\frac{3}{16}$
外国の学校等	$\frac{13}{104}$
その他(専修学校の高等課程等)	$\frac{3}{7}$

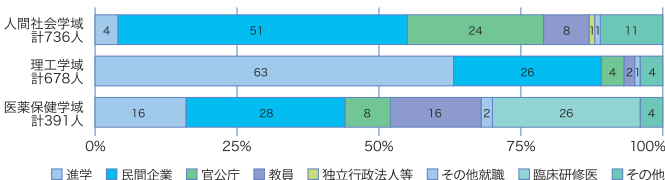
卒業後の進路状況等

学士課程卒業者の累計は93,063人に達し、社会の各方面で活躍しています。

[2018年度卒業生進路状況・産業別就職状況・地域別就職状況]



[学域別進路状況]



4 研究

学術論文被引用数

大学の研究面の成果や実績を示す指標の一つである「学術論文」の被引用数。分野別では、薬学・毒性学分野で国内6位、神経科学・行動科学分野で国内14位と優れた研究実績を有します。

【日本の論文の引用動向 2009.1-2019.2 日本の研究機関ランキング】
【①全分野(ALL FIELDS) 5,864機関】(論文被引用数で上位1%に含まれる機関数)

国内順位	世界順位	機関名	論文数	被引用数	平均被引用数
1	55	東京大学	82,449	1,462,638	17.74
2	113	京都大学	59,992	939,397	15.66
3	168	大阪大学	46,041	717,863	15.59
4	196	(国研)科学技術振興機構	26,140	646,988	24.75
5	200	東北大学	45,966	636,059	13.84
6	228	(国研)理化学研究所	25,488	565,843	22.20
7	274	名古屋大学	32,915	492,349	14.96
8	315	九州大学	33,354	426,514	12.79
9	342	北海道大学	31,607	400,250	12.66
10	383	(国研)産業技術総合研究所	23,140	361,943	15.64
11	401	東京工業大学	24,588	348,056	14.16
12	468	筑波大学	21,377	292,036	13.66
13	490	(国研)物質・材料研究機構	13,954	280,661	20.11
14	533	慶應義塾大学	18,454	256,744	13.91
15	562	広島大学	17,669	235,352	13.32
16	624	岡山大学	14,716	210,351	14.29
17	645	神戸大学	15,647	205,445	13.13
18	651	(共)自然科学研究機構	11,688	202,882	17.36
19	747	千葉大学	13,715	171,502	12.50
20	753	早稲田大学	12,180	168,598	13.84
21	765	首都大学東京	6,707	165,231	24.64
22	781	東京医科歯科大学	9,996	162,445	16.25
23	861	(国研)国立がん研究センター	6,802	143,954	21.16
24	871	金沢大学	10,697	141,429	13.22

○トムソン・ロイター社「Essential Science IndicatorsSM」データベースを基に作成。
(世界順位等の情報は上記データベースから転記。それ以外は金沢大学先端科学・社会共創推進機構調べ)

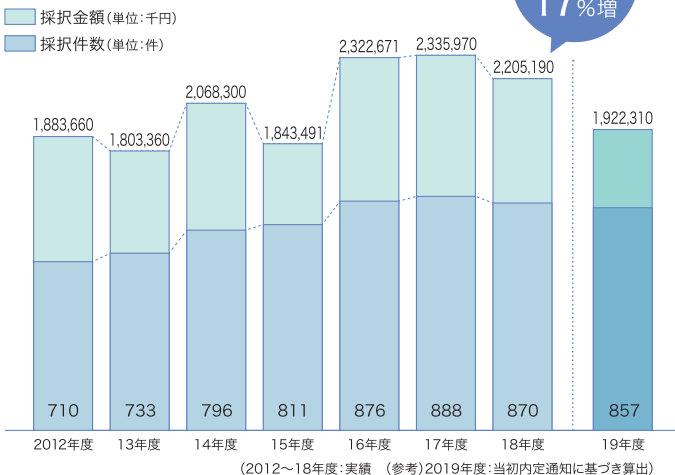
科研費

日本の学術振興のため優れた研究を支援する「科研費」。
2018年度の国の科研費予算額は2,286億円で、前年度に比べて2億円増加しています。

- ・採択件数**870件**
- ・採択金額**22億519万円**

※2018年度 新規+継続合計
文部科学省「平成30年度科学研究費助成事業の配分について」(2018.11公表)に基づき集計

[採択件数・採択金額の推移]



[2018年度科研費 採択件数ランキング(新規採択分)]

順位	大学・機関名	件数	新規採択率	順位	大学・機関名	件数	新規採択率	順位	大学・機関名	件数	新規採択率
1	東京大学	1,483	37.4%	8	筑波大学	420	28.0%	15	東京工業大学	304	30.1%
2	京都大学	1,055	37.1%	9	神戸大学	399	30.1%	16	金沢大学	303	28.7%
3	大阪大学	937	32.5%	10	慶應義塾大学	380	35.4%	17	千葉大学	249	26.9%
4	東北大学	848	29.5%	11	広島大学	364	25.0%	18	新潟大学	238	26.3%
5	九州大学	674	28.2%	12	早稲田大学	341	29.7%	19	熊本大学	234	28.8%
6	名古屋大学	606	30.9%	13	(国研)理化学研究所	328	30.3%	20	東京医科歯科大学	226	26.4%
7	北海道大学	569	28.7%	14	岡山大学	313	27.0%				

文部科学省「平成30年度科学研究費助成事業の配分について」(2018.11公表)より
※研究代表者の所属する大学等により整理している。

■金沢大学では、申請書類作成のための説明会や研究費支援など、さまざまな方策により科研費の一層の獲得増を目指しています。

5 社会共創

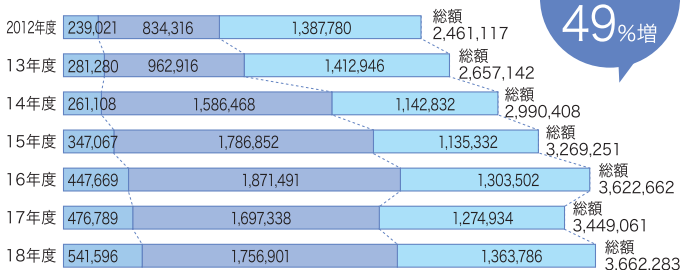
産学官連携

— 外部資金

産学官の連携を図るため、共同研究・受託研究・寄附金の受け入れを推進しています。

[共同研究費等の推移] (単位: 千円)

■ 共同研究 ■ 受託研究 ■ 寄附金



— 発明届出・特許出願

研究の成果によって生み出された大学の特許は、実施料収入等だけでなく、大学の研究成果が社会で最大限活用されるための手段として利用されています。

[発明届出・特許出願件数の推移]

(件)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
発明届出件数	95	105	82	79	73
特許出願件数	77	69	60	65	41

[特許権実施等件数・特許権実施等収入の推移]

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
特許権実施等件数(件)	224	245	261	248	215
特許権実施等収入(千円)	35,987	22,957	21,841	25,859	21,322

— 研究分野別シーズ集

金沢大学の人文系・理工系・医薬保系の全領域の研究シーズをフリーワードで検索できるデータベースを作成・公開しています。

金沢大学 シーズ データベース 検索

<https://ridb.kanazawa-u.ac.jp/seeds/>

—自治体との連携協定数

石川県および富山県の13の各市町自治体と連携協定を締結しています。

- ①石川県
- ②金沢市
- ③七尾市
- ④小松市
- ⑤輪島市
- ⑥珠洲市
- ⑦加賀市
- ⑧白山市
- ⑨能美市
- ⑩志賀町
- ⑪穴水町
- ⑫能登町
- ⑬富山県南砺市



—職業実践力育成プログラム

社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムとして文部科学大臣の認定を受けています。

■能登里山里海SDGsマイスタープログラム

世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」など能登の豊かな地域資源を正しく評価し、能登の活性化を担う人材を育成します。多様な職種の人々との共創により、新たなビジネス創出と持続可能な地域づくりにつなげていきます。

これまでに**183人**のマイスターを輩出

■金沢大学社会教育主事講習

社会教育主事の任用資格付与を目的とし、社会教育主事に求められる資質・能力向上と、学びを通じた絆づくり、活力あるコミュニティ形成に寄与する人材を育成します。

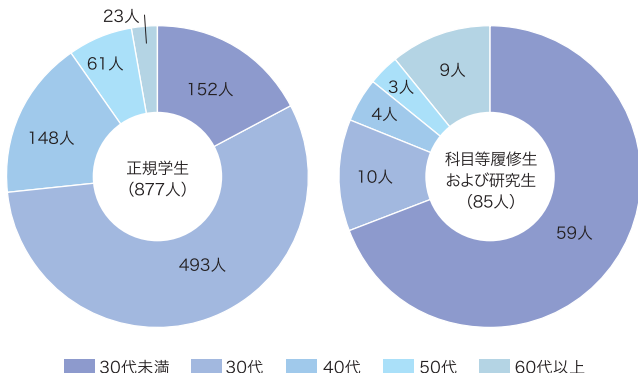
これまでに**3,287人**に社会教育主事の任用資格を付与

一リカレント教育

■ 社会人学生の受け入れ

社会人学生が学びやすい環境を整えるため、土日・夜間に講義・研究指導を受けられる特例措置や、入学から卒業・修了までの履修期間をあらかじめ長く設定できる制度を設けています。

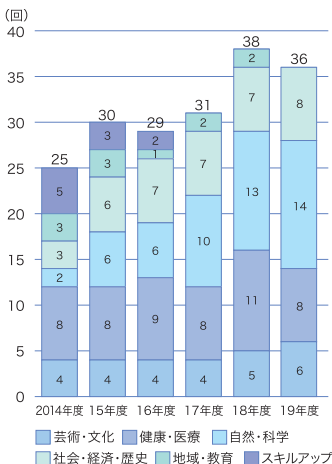
[社会人学生の年代別内訳]



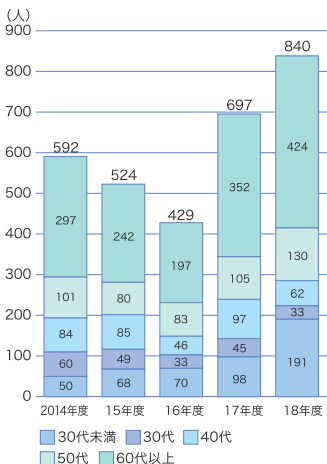
■ 公開講座

価値観の多様化、高度化する学習ニーズに対応し、一人一人の自発的な学習活動を支援するため、幅広い分野の講座を企画し、生涯にわたる学びをサポートします。また、金沢市内だけでなく、珠洲市内、小松市内にもサテライトを設置し、県内全域の学習ニーズに対応しています。

[講座数の推移]



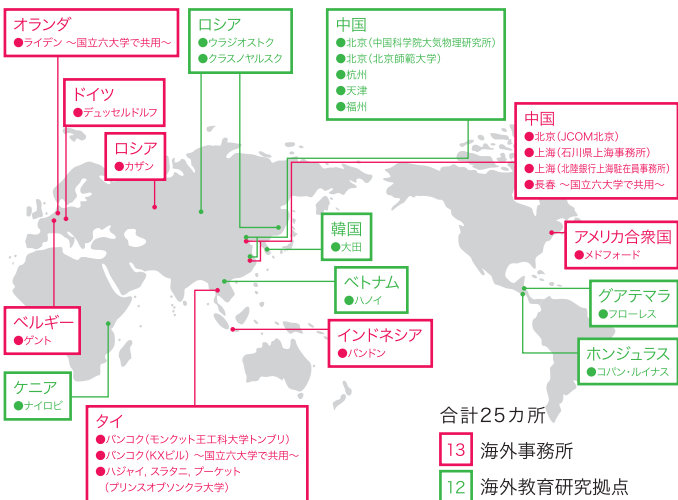
[受講者数の推移]



6 国際交流

海外リエゾンオフィス

現地での学生募集、広報活動などを目的とした「海外事務所」と、本学教員の研究活動、学生の海外インターンシップなどで利用される「海外教育研究拠点」があります。



国際交流協定締結校

環日本海の基幹大学、東アジアの知の拠点として、世界のトップレベルの大学との交流を積極的に推進しています。

[大学間/部局間国際交流協定 機関分布]

	アジア	中東	オセアニア	アフリカ	ヨーロッパ	ロシアおよびNIS諸国	北アメリカ	中南アメリカ	国際機関
大学間 国際交流協定 193機関 (40カ国1地域)	118	6	6	3	29	10	12	8	1
部局間 国際交流協定 78機関 (24カ国1地域)	52	1	3	2	13	2	4	-	1
総計 271機関 (46カ国1地域)	170	7	9	5	42	12	16	8	2

公式海外派遣プログラム派遣者数の推移・派遣留学先数

1 沿革・組織

2 基礎データ

3 教育

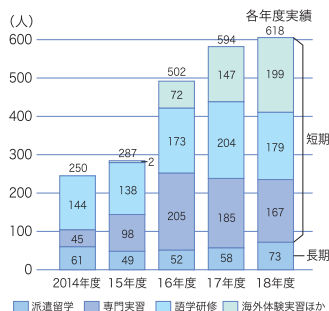
4 研究

5 社会共創

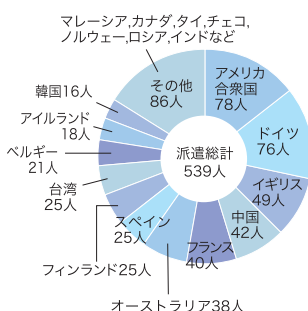
6 国際交流

7 附属病院／附属図書館・資料館

[公式海外派遣プログラム派遣者数の推移]

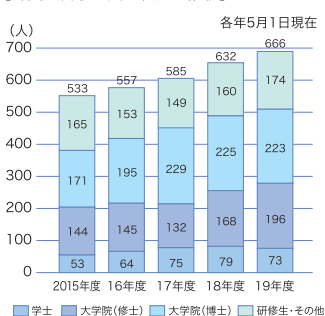


[派遣留学生の留学先(過去10年間の累計)]

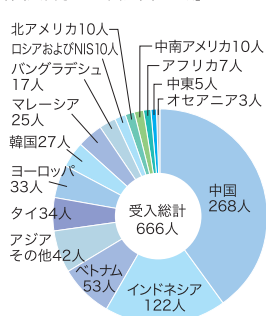


外国人留学生の推移・地域別数

[外国人留学生受入状況の推移]



[外国人留学生の出身国・地域]

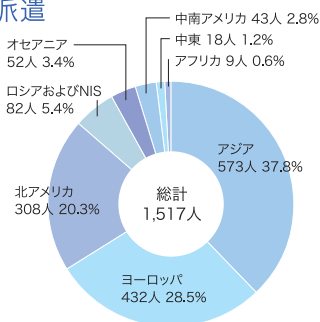


研究者等派遣・受入数

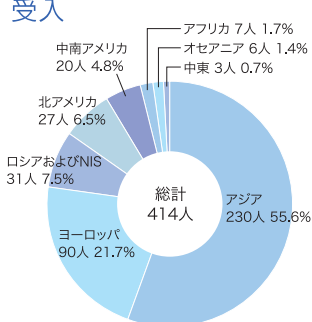
[研究者等交流実績(2018年度)]

※グラフの「%(パーセント)」表記は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計値が「100%」にならない場合があります。

派遣



受入



7

附属病院／附属図書館・資料館

1 沿革・組織

2 基礎データ

3 教育

4 研究

5 社会共創

6 国際交流

7 附属病院／附属図書館・資料館

附属病院

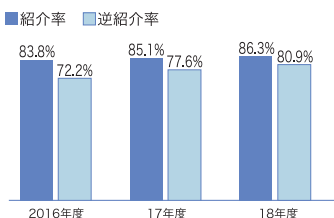
附属病院は36の専門診療科の下、地域の病院・診療所、保健行政機関や医師会等との地域医療支援ネットワークづくりを進めています。

[附属病院診療状況等]

診療科数 36科		ベッド数 838床	
診療状況	外来	延べ患者数	383,967人
		1日平均患者数	1,573.6人
		平均通院日数	23.2日
入院	入院	延べ患者数	254,407人
		1日平均患者数	697.0人
		平均在院日数	15.8日

※外来診療日数244日 ※診療状況は2018年度

[患者紹介率]

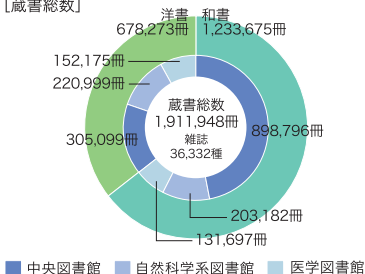


※紹介率は、附属病院を受診した患者さんのうち、他の医療機関から紹介されて来院した患者さんの割合。逆紹介率は、附属病院から他の医療機関に紹介した患者さんの割合。これらの率は地域の医療機関との連携の指標です。

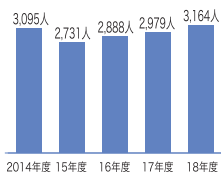
附属図書館

附属図書館は、中央図書館(角間キャンパス北地区)、自然科学系図書館(角間キャンパス南地区)および医学図書館(宝町・鶴間キャンパス)の3館で構成されています。

[蔵書総数]



[学外からの附属図書館利用者数]

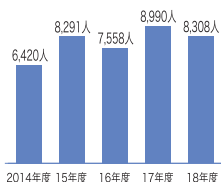


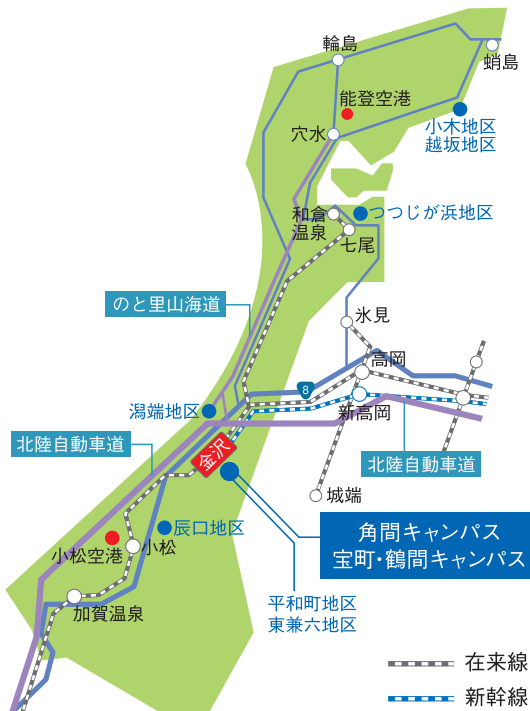
入館者 704,529人
貸出冊数 119,711冊

資料館

モノ資料約77,000点、文書資料約11,000点の計約88,000点の収蔵資料を有しています。

[資料館入館者数]





金沢大学

KANAZAWA
UNIVERSITY

発行／金沢大学総務部広報室

〒920-1192 金沢市角間町

TEL.076-264-5024 FAX.076-234-4015

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/>

※このリーフレットの掲載内容および最新ニュースなどについては、金沢大学Webサイトでもご覧いただけます。

※データは特別な記載がある場合を除き、2019年5月1日現在のものです。



2019.7.13000